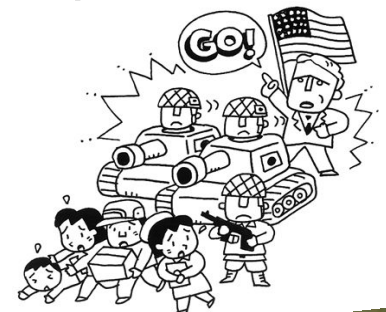


普天間基地を無条件撤去して、矢臼別への訓練移転にストップを!!



6月10日、市議会6月定例会において、村上和繁議員が一般質問を行いました。村上議員は、普天間問題にかかわって、「市長として国に対し、普天間基地の無条件撤去を求めよ」「矢臼別への普天間の訓練移転に反対せよ」と迫りました。



沖縄県民の声にこたえるためにも無条件撤去を求めた村上議員、それに対し市長は、「今回の合意は沖縄の負担軽減のためで、国の安全保障に関わるもので、国の責任で対応すべきもの」と素知らぬふり。

矢臼別への移転問題で、伊東良孝衆議院議員ですら、矢臼別で実弾訓練が13年も続いているから次は大型ヘリコプターの訓練をということにはならない。実施されれば酪農家にとって大きな影響があると懸念している。それなのに「市長は反対と言えないのか」と迫ると、「来ない方がいいに決まっているが、安保がベースにあつてそれを全国が享受している。そこから考えなければならぬ」と、最後まで反対の二文字は口にしませんでした。

札幌の悲劇を繰り返さないために

**小規模グループホームへの
スプリングクラー設置補助を
求める意見書を可決**

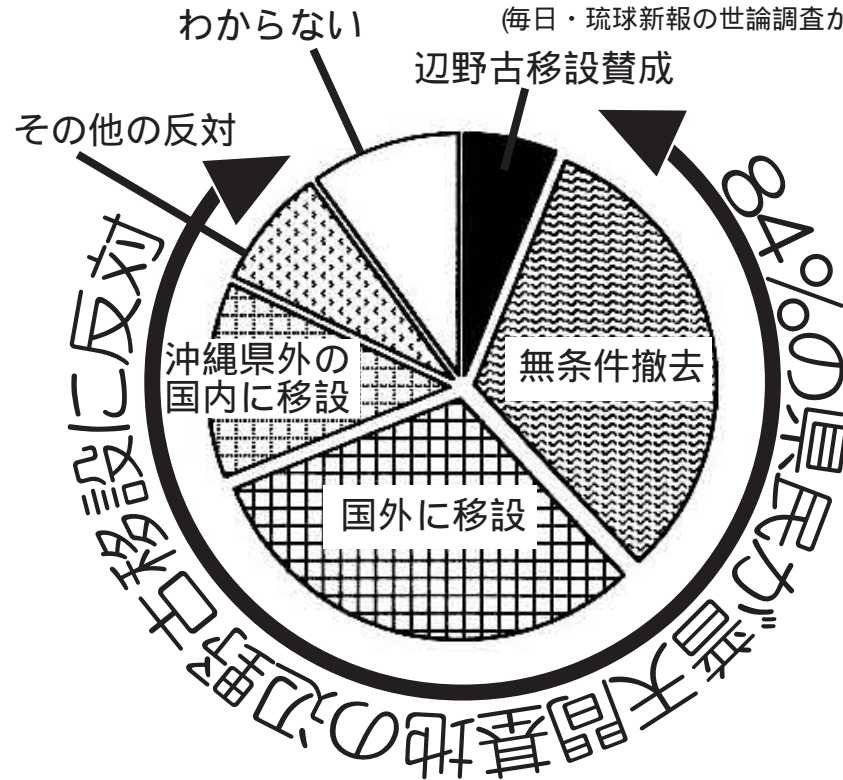
3月に札幌北区で認知症グループホームの火災が起こり、たくさんのお年寄りの方が亡くなりました。275㎡未満の施設には、スプリングクラーの設置補助金がないため、未設置だったことが、火事を大きくした一因となりました。

共産党議員団は、275㎡未満の施設にも補助するよう求める意見書を提案、全会一致で可決されました。



これが沖縄県民の声です

(毎日・琉球新報の世論調査から)



危険な訓練の誘致をしようとしているのが、鈴木宗男議員です。矢臼別や道内への訓練移転を進めるような発言を繰り返す鈴木宗男氏に対して、道東の安全と平和を希求する立場から、市長は厳しく抗議し、発言の撤回を求めるべきです。